

多変量解析と官能評価を用いた日本酒の風味の可視化に関する研究

菅野, 洋一郎

<https://hdl.handle.net/2324/4495977>

出版情報 : 九州大学, 2021, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏 名	菅野 洋一朗		
論 文 名	多変量解析と官能評価を用いた日本酒の風味の可視化に関する研究		
論文調査委員	主 査	九州大学	教授 林 健司
	副 査	九州大学大学院農学研究院	教授 松井 利郎
	副 査	九州大学	准教授 小野寺 武

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、日本酒について、味認識装置および化学機器による分析を行い、測定値に対する多変量解析の結果と官能評価の結果を融合し、客観性のある日本酒の呈味や風味の評価方法を確立している。また、日本酒の味を表現するアプリケーションソフトを通じ、広く一般にも普及できる手法を開発しており、電気電子工学上価値ある業績である。よって、博士（工学）の学位に値するものと認める。